

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE



REPORT

Vol. **21**
2019 WINTER

特集 賛育会病院 いのちの授業

そまちゃんレポートVol.02: 優しい思いやりコミュニケーション

賛彩レシピ: 高血圧予防に「減塩タンドリーチキン」





特集
REPORT

いのちの授業

「かけがえのない命」を伝える助産師さんは
子どもたちの未来を考えています。

賛育会病院（東京都 墨田区）

いのちの授業は賛育会病院の助産師さん方により、小学校4年生の「総合的な学習」の時間に行われています。

20年ほど前、小学校における性教育の取り組みが進みかけたころ、養護学校において「子どもへの行き過ぎた性的な指導」が注目され、否定的な意見が多くなり、学校における活動自体が自粛モードになっていました。しかし、子どもたちにとって必要なことを教える重要性を考え、1年間の総合的な学習の時間において、妊娠・出産・育児をどう組み立てれば良いのかを検討していた業平小学校の先生から地域のゲストティーチャーとしての協力依頼をいただき始動しました。

賛育会病院が行なっている活動のなか、どの部分を子どもたちに提供できるのかを学校の先生方と一緒に考えるうちに、賛育会病院には「生まれる」という場面を

お手伝いしている助産師が沢山いるので、「命の大切さ」を伝えることができるのではないかと結論に至り、2000年から、「いのちの授業」がスタートしました。

●子供たちの反応とやりがい

授業の中で子どもたちは出産時の音声を聞きます。映像のない音声のみを聞かせることで、子どもたちは恐怖を感じるのではないかと担当者に尋ねたところ、「敢えて怖さや驚きを与えている。命が誕生するということはそれだけ大変なことなんだよ。そんな状況であなたや周りの人は生まれてきたんだよということを伝えている」という答えが返ってきました。実際「大変そうだけど、私もいいお母さんになろうと思った。そういうことを考えて赤ちゃんを産もうと思った」という想いに繋がった子や、育児体験では、まるで



母親になったような表情を見せる子もいたそうです。

また、中には賛育会病院で生まれたという子にも出会う機会があり、やっていたよかったと思えたと話されていました。自分が取り上げた赤ちゃんと、10年経って再び出会うというのもこの活動の醍醐味だそうです。

●今後の展望

いのちの授業には現在いくつかの課題があります。授業を行う助産師は教師でもなければ教育のプロでもありません。故に子どもたちとの想いのキャッチボールができるようになるまでには時間がかかり、決まった台本通りに話しても心に響く授業をすることが難しい現実があります。教師ならぬ若い助産師が、子供たちの反応を見ながら自分の想いを自分の言葉で伝えられるまでに育つには、時間と経験を重ねる事が必要なのです。

「私たちの授業は総合的な学習の時間の一部分にすぎないため、子どもたちにどれほどの影響を与えられているのかわからない。授業が終われば次の瞬間にはもう関われないので、この1回の授業をその後どこまで繋げてくれるのか学校の先生頼りになってしまう。今後は私たちが子どもたちと継続した関わりを持つという次のステップに進むべき時なのかな」と担当者は言います。現在は

主に助産師が行なっているこの「いのちの授業」ですが、助産師以外にも場数を踏んできた職員を巻き込みながら子どもたちと継続的に関わっていく新たな「いのちの授業」も近々目にする事ができるのかもしれません。

「いのちの授業を体験した子どもが大人になり子どもが生まれた時、10歳で体験したこの授業の記憶が蘇ると思う。その子たちが我が子をどう育てるのか、子育てにどう影響するのか。そこがいのちの授業で大切なこと」だと語る助産師たち。いのちの授業を体験した子どもたちにとって長い影響を与える授業になってほしいという子どもたちへの深い愛情を感じました。

いのちの授業(賛育会病院)

開催日時:不定期(月2回まで)

1時間~2時間(時間は学校と調整)

次回開催:2月16日(土)9:15~10:45

江戸川区上平井小学校

対象:小学校4年生

お問い合わせ:03-3622-9191(島まで)

開催場所:墨田区・江東区・江戸川区等近隣の小学校

<http://319kouenkai.jp/csr/school/lifeclass.php>



石引 麻里子さん 第二清風園：看護課長

12月も半ばを過ぎたある日、賛育会病院から異動に先んじて勤務を開始したばかりの石引麻里子さんを第二清風園に訪ねました。「私なんかで良いの?」と言いながらにこやかな笑顔で出迎えてくれました。明るい笑顔で誰とでも気さくに話し、出会ってすぐに周囲の緊張をほぐして柔らかい雰囲気を作り出してしまう…そんな女性、石引麻里子さんに今回お話を伺いました。石引さんはそれまで賛育会病院の副看護部長として勤務されていましたが、今回第二清風園の看護の責任者として異動となりました。実は、賛育会病院の看護の要だった方が特別養護老人ホームに異動するのは初めてのこと。第二清風園がラブコールを送り続けてやっと実現した人事でした。

第二清風園がある町田には23の特別養護老人ホームがあります。高齢者施設の医療ニーズが高まっている今日ですが、医師が常駐しているのは賛育会が運営する清風園と第二清風園のみ。医療機関でも医療者確保が困難な中で、福祉施設が医療体制を充実させるのはとても難しい状況にあるのです。そんな中で、施設の医療体制を更に充実させるために白羽の矢が立ったのが石引さんでした。一定期間の治療を目的とする病院での看護と、生活の場である介護施設での看護では、また少し違った側面があります。医師と連携がとれて、介護スタッフ、リハビリ・スタッフ、管理栄養士等と医療的知識を共有し、更にはご本人や家族と同じ目線で生活を支えていくことが求められます。

石引さんは、看護の職を一度離れ、鮎屋やファストフード店

での仕事を経て再び看護の職に就いたという異色の経歴を持つ看護師さんなのです。「私、鮎屋にいたから魚をさばくことだってできるのよ」と自慢気に話してくれました。その後再び看護職に戻り、精神科での経験を経て、賛育会病院では副看護部長として若い看護師を指導しつつ、緩和ケア病棟も担当されました。「施設看護にはそんな幅広い経験こそが必要」との施設の思いが、今回のラブコールにつながりました。

看護師・相談課連絡会議などで、同じ看護でも医療施設と介護施設では求められる業務や考え方が異なることを体感したと言います。特に、積極的な治療を第一に考えるのか、ゆったりとした時間が過ごせることを第一に考えるのか等、医療と介護の間には様々な価値観の違いがあることを実感したそうです。何が良くて何が悪いという事ではなく、お互いを知り、情報を交換し、その時々でベストを尽くす。そのために病院での知識や経験を活かしつつ、「生活の場」としての施設看護師の在り方を大切にしながら介護の質を上げていきたい。これまで培ってきた人とのつながりや経験を生かし、施設内外の連携共に深めていきたいと語ってくれたその表情は、新たな環境にワクワクしている、そんな印象を受けました。

「ご利用者が歩んだ人生や背景を知り、ふとした事で話が膨らんで心が通っていく瞬間が好き」と優しい眼差しと物腰で話す姿から、今まで多くの患者さんの不安な気持ちに寄り添うことで、「この人になら」と信頼を勝ち得て来た人なのだと言っていました。



笑顔のリレー ～地域と賛育会：清風園

金井町内会：会長 大石 正幸さん

50年以上の歴史を持つ清風園。地元町会との強い絆で支えていただいています。

清風園では夏祭りのイベント等で、地元、金井町の皆様にいつもお手伝い
いただいとてもお世話になっています。

とりわけ金井町内会の皆様には力強いお支えを頂いていますが、今回は
そんな町内会の会長さんである大石正幸さんをご紹介します。



大石 正幸さん

清風園さんは、金井町内会との協定で災害が発生した時の二次避難場所となっており、清風園さんのような場所が近くにあると心強く感じております。またお互い協力し合いお手伝いをする関係にあり、町内会行事等に清風園さんに参加頂いたり、清風園さんのイベントにも町内会から参加させて頂き、清風園さんとは強い絆を感じております。清風園さん始め、地域の事業所から金井町内の掃除やイベントに参加して頂き、助け合いの精神を先代の町内会の先輩方から継承し、住みやすさやイベントへの参加しやすい雰囲気をつくっております。こういったイベントを行っている事を町田市のホームページに掲載されているのを見て、興味を持った若い世代の方の町内会加入にもつながっています。今後も、清風園さんとのつながりを大切に、神社や商店街とも協力し、町田市無形民俗文化財である金井獅子舞やお囃子等伝統芸能を継承していき、地域の活性化も図っていきたいと思います。



金井の獅子舞
清風園のイベントにて



賛彩レシピ

高血圧予防に「減塩タンドリーチキン」

にんにく、生姜などの香味野菜やカレー粉の風味を活かして塩分を控えめに。
血圧が気になる方も、美味しく減塩できるレシピです！

レシピ制作：豊野清風園・栄養科・管理栄養士 小田 祐美子

材料：(4人分)

- ・鶏もも肉 280g
- ・塩 1.5g
- ・こしょう 少々
- ・油 大さじ1

※

- ・プレーンヨーグルト 大さじ4
- ・トマトケチャップ 小さじ4
- ・しょうゆ 小さじ1
- ・にんにく(すりおろす) 少々
- ・生姜(すりおろす) 少々
- ・カレー粉 小さじ1強

作り方

- ①鶏もも肉に、塩こしょうで下味を付ける。
- ②※印の材料を混ぜ合わせ、鶏もも肉を漬け込む。
- ③フライパンで油を熱し、②の鶏もも肉の両面を焼き、中心までよく火を通す。
- ④焼いた鶏もも肉を食べやすい大きさに切り、器に盛り、付け合わせを添える。



減塩の
コツ

高血圧予防の食塩
摂取量:1日6g未満に

酸味や旨味を活用して
少しずつ薄味に

主食は
ご飯がおすすめ

汁物は1日1杯
出汁の旨味で薄味に





優しい思いやりコミュニ

世代をこえて分かり合い、認め合う、優しいコミュ

-そまちゃん-
こんにちは。日常の
役立つ知識や知恵を
養育会の専門家に
聞いてレポート
していきます。

最近わかって
くれなくて
困っちゃうわ

それって、こういう
ことなのかも…



清風園
グループホーム「丘の家清風」
介護主任

小松恵利子さん



今回は、世代を越えて家族が優しさや思いやりを交し合うには…
という事についてお聴きしたくて、清風園(東京都町田市)の
グループホーム「丘の家清風」へ小松恵利子介護主任を訪ねました。

そまちゃん:はじめまして、そまちゃんです。今日は、世代間のコミュニケーションについてお話をお聞きしたいと思います。例えば、親子とか、あるいはお嫁さんと義父母とかみたいに、世代が離れた者同士って、一つ屋根の下で暮らしていると、いろいろと難しい面があると思うんです。お互いが穏やかな気持ちで暮らすためのヒントを頂ければなあ…と思ってお訪ねしました。

小松:小松です。どこまでお応えできるか分かりませんが、私たちが介護の現場で傾聴やユマニチュードなど、ご利用者さんと向き合うコミュニケーション技術を実践していることなどをふまえながら、一緒に考えてみましょうか。よろしくお願ひします。

そまちゃん:よく、老若どちらの世代の側からも「相手がちっともわかってくれない」みたいな話がありますが、そういう話を聞いた時、小松さんはまず何を思いますか？

小松:最初に思うのは、そうした言葉を発する側の人にいろいろとストレスが溜まっているんだろうなあってことです。一つの事柄だけでなく、それまでのいろいろな事柄を通じて溜まっていたストレスが、その時に発せられただけと

いうこともありますから、そこに至るまでのコミュニケーションや関係性が大事なんだろうと思います。

ここで一つ考えなければいけないのは、「声をかけたのに無視された」と思う前に、「自分に気づいてもらえてから声をかけたか？」と考えることも大切だと思います。

そまちゃん:そうですね。「コミュニケーションが大事だ」という話は良くありますが、その前の段階で、コミュニケーションを始められる状態になっているかどうかということが大事ということですね。では、そういう状態になっていくためにはどうしたら良いのでしょうか？

小松:例えば、加齢と共に耳が聞こえ難くなるってことがありますよね。だから若い世代の人が声をかけても気づいていないかもしれない。でも反対に、洗い物をしていたり、赤ちゃんの世話をしているときに上の世代の人が声をかけても気づいていないかも知れないですね。「声をかけたのに無視された」というフラストレーションは、互いに感じているかも知れないんです。相手の顔を見て、目線が合い、互いが相手を認識してからがコミュニケーションの話なんです。コミュニケーションは大事ですけど、その前のステージを意識すること

ケーション

ニケーションを成り立たせていくのには…



不意にいろいろ
話しかけられて
もねえ…
よくわからないわ…

相手に気づいてもらってから、声をかけることを意識してみましょう。

昨日ね、
○○せんが
ペラペラペラペラペラペラ
ペラペラペラペラペラペラ
ペラペラペラペラペラペラ



そっか、目線が
あってから
話せば伝わるのね！

相手と目線が合い、お互いに相手を認識してから言葉をかけると、分かり合えるコミュニケーションに。

さらに

触れ合って
話してもらえると
なんだか安心。

相手に優しく触れながら、話をするとより深いコミュニケーションへ。



て、とても大切なんです。

そまちゃん:例えば、何度も聞いた話をされて、「それ…何度も聞いた」なんて思うことがあります。そんな時、言葉や態度が冷たくなったりもしちゃいますよね。

小松:コミュニケーションはキャッチボールですから、投げられたボールは、一旦は受け取ることが前提ですね。ボールを投げたのに受け取ってもらえないというのは悲しいですから、「前にも聞いた」とシャッターを下ろしてしまうのではなく、「それって前にも聞いたけど、お母さん大変だったんだねえ」とキャッチすることが大切です。でも、もしキャッチするほどのゆとりが持てないときは、多少無理があってもその場を離れて、自分をリセットすることも大切です。そのまま続けると余計に壊れるということもありますから。

そまちゃん:何か相手と話していて、自分の思いとは違う意見になった時って、「相手が何故そう言うのか」と考えながら話をすると、最終的に相手に同意しなくちゃいけないんじゃないか…って心配になることはありませんか？

小松:そうですね。でも、相手の気持ちを受け止めるということと、相手に同意することは別です。「あなたの気持ちは分かった。

でも、ごめんね、こうするね」ということがあっても良いんです。「分かった」という言葉は、「あなたの気持ちを受け止めました」「あなたを理解しました」という受容のメッセージですから、とても大切です。「分かった」と言ったら最後…なんて思うとお互いが苦しくなりますが、自分が同意するかどうかはさておき、「あなたのことを受け止めました」というメッセージを発するところからコミュニケーションが深まっていくのだと思います。**そまちゃん:**なるほど。「『分かった』と尝试みよう!」ということですね。

小松:あと、相手を楽しませるってことも大切だと思います。人間って、相手が喜んでくれた時が一番うれしいでしょ?逆に言うと、相手が喜んでくれないと、自分の心も喜ばないってことです。相手が喜べるように接することこそが、相手との関係を楽しいものにしていくために一番大切なことなんじゃないでしょうか。

そまちゃん:それ、大事ですね。今日のお話は、家庭の中だけでなく、職場でも、友達との関係でも、どんな場面でも共通することですね。本日はお忙しい中、どうもありがとうございました。

具合が悪いので来てみたけれど、何科にかかれば良いの？
最初はどこに行けばいいの？ 予約があるので来たみたけれど、
どうしたらいいの？ 血液検査って言われたけど、どこに行けば
いいの？ そんなお悩みありませんか？

ご安心ください。外来棟南口に総合案内としてスタッフが待機
しています。外来患者さん(特に、初めて来院された方)の診療科の

ご案内、予約センター、
書類申請窓口へのご案内
内、その他、外来診療に
関すること、入院に関
すること、職員の接遇
に関する事、病院設
備に関する事等々、
いつも速やかな対応
を心がけています。ご相談に関しては、内容に応じて各担当者へ
お取り次ぎいたしますので、気軽にお声をかけてください。安心
してご利用いただけるようサポートさせていただきます。



INFORMATION

施設 通信

食育を通じて子育て支援

さんいく保育園有明(東京都・江東区)

さんいく保育園有明は、最近話題の豊洲市場やオリンピックのテニス会場となる有明テニスの森に近い、タワー・マンションの2階部分にあります。タワー・マンションが増えるにつれ、この地域にも保育園が増えてきました。今の時代、運動や音楽、英語等に特化している保育園も出てきていますが、さんいく保育園有明では、子どもが育っていく一番基本的なことを大切にしています。心が揺れているときにぎゅっと抱きしめてあげる事、自分が愛されていると実感できるようにしてあげる事。そういうことを何よりも大切にしています。そして、食育もそんな大切なことの一つです。管理栄養士と保育士の双方の視点から子どもの食育に取り組み、より深い内容を目指しています。食材を見たり触れたりすること、スイカ割りや流しそうめん大会、梅干しやうどん等のクッキングイベント、外部業者の協力を得て、大きな魚を子どもたちの前でさばいたり、豊かに実った稲穂に触れたりする機会も作り、子どもたちが五感で感じながら興味を持って体験できるようにしています。

そうした園の活動を園の中だけに留めず、保護者の方や未就園児親子の方々にもご参加いただき、ご家庭での食育に役立てていただけるようにしています。また、園の給食のレシピをメニュー毎のカードにして、気になるレシピを自由に持ち帰ることができるようにしています。内容は定期的に入れ替わり、中には集めている方も。「こんな給食を食べているんだな」と給食を知っていただく他、時には忙しい保護者の方の献立を考える手助けとして活用していただいています。「あ、これ、

保育園で食べたのと同じだ!あのね、このときにね…」と
お子様とのコミュニケーションへつながることもあります。
子育て真っ最中の親御さんへ、栄養
があって、美味しく、アレルギーの
心配のない園のレシピをお届けでき
たらきっとお役に立てる。そう考
えて、現在、一冊の本にまとめること
などを検討しています。



主要人事《管理職人事》

〈採用〉

2018年12月1日付

原田 祥子 賛育会病院 小児科医長とする

〈異動〉

2018年12月31日付

第二清風園 副施設長 兼 看護課長 小林 利紀子

第二清風園 看護課長兼務を解く

2019年1月1日付

賛育会病院 副看護部長 石引 麻里子

第二清風園 看護課長とする

〈退職〉

2018年11月30日付

賛育会病院 小児科医長 増岡 京子 依願退職

編集後記

新年を迎えいよいよ平成最後の年となりました。「平成生まれなの!?!」と新入職員を前に先輩が驚くというやり取りを何度か見ましたが、平成生まれもすっかり当たり前。後数か月で新元号になる事に時の流れと少しの寂しさを感じます。賛育会も100周年、増税も始まる等色々変化のある年になりそうです。が、常に期待感を持っていただいですね。(M.F)

San-iku 通信

社会福祉法人 賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

San-iku通信 Vol.21 2019年 冬号

編集: 賛育会広報委員会

発行人: 中村 基信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

印刷: (有)エースプリント (20190206-6710)

社会福祉法人 賛育会

〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8

URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ

TEL: 03-3622-7614

賛育会100周年記念サイト

<https://www.san-ikukai.or.jp/100th/>

つながろう、ひとつに。
ひろげよう、笑顔。

100th
ANNIVERSARY
地域とともに100周年

社会福祉法人
賛育会

